

あかちゃんだって

# えほん だいあき！

0. 1. 2さいのえほんリスト



生駒市図書館

はじめてあかちゃんと絵本を読んでみよう！と思ったおかあさん、おとうさん、  
“ほっぷ”の絵本です。

絵本は楽しいもの！いっしょに絵本を読む時間は幸せな時間！！

それを親子で実感してもらえたらうれしいです。

はじめてのお誕生日がまだまでも、もうとっくに過ぎていても、“さいしょのだいいっほ”は、ここからはじめてみてください。



無理に全部読もうとしなくてもかまいません。

おかあさん、おとうさんが「面白そうだな」と思ったものから読んでみてくださいね。



### いないいないばあ

(松谷みよ子あかちゃんの本)  
松谷みよ子/文 瀬川康男/画  
集心社 1981 [1967] 20p 700円

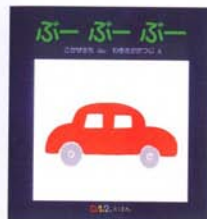
にゃあにゃ、くまちゃん、こんこんぎつね……。画面いっぱいに描かれたどうぶつが手で顔をかくして登場し「いない いない……」、ページをめくると「ばあ」と顔を見せます。あかちゃんはどうぶつたちのまんまるなひとみが自分に向けられているのを見て、笑顔をはじかせます。昔ながらのあそびをモチーフにした、はじめての絵本にぴったりの1冊です。こうしてあやしてもらった昔を思い出して、あかちゃんと楽しみましょう。



### りんご

(母と子のえほん)  
松野正子/ぶん 鎌田耀子/え  
集心社 1984 20p 600円

「あかいりんご まるいりんご/きいろりんご まるいりんご/ピンクのりんご まるいりんご」柔らかな色づかいでいいねいに描かれた、おいしいそうなりんごが3つ。おかあさんが皮をむいて、切って、芯をとって、お皿いっぱいに盛ってくれました。詩のようにやさしい言葉で、ゆったりした気持ちになる絵本。みんなでりんごを食べる幸せに、自然と笑顔がうまれます。あかちゃんは、まるいりんごを見てにっこり。「おいしそう、食べたいな」って思うのかな。



### ぶーぶーぶー

(0.1.2.えほん)  
こがざさち/ぶん  
わかざかかつじ/え  
福音館書店 2007  
20p 571円



### もう おきるかな?

(0.1.2.えほん)  
まつのまさこ/ぶん  
やぶうちまさゆき/え  
福音館書店 1998  
20p 571円

ねこの親子がながよくぐっすり眠っています。「ねこ ねこ よくねているね。もうおきるかな?」ページをめくると「あー、おきた!」めざめてのびをする姿は、とても気持ちよさそうです。しゅ、りす、くま、ぞうの親子も次々に登場します。どうぶつたちのユーモラスなしくさの中に、親子の愛情が感じられる絵本。あかちゃんに話しかけるように、ゆっくり読んでみてください。



くっついた  
三浦太郎/作・絵  
こくま社 2005  
24p 800円

きんぎょときんぎょがくっついた。あひるとあひるもくっついた。おかあさんとあかちゃんもほっぺをくっつけ、おとうさんも……。くっつくのは、なにかよしのしるし。あかちゃんがかっこいい顔になる絵本です。



### てんてんてん

(0.1.2.えほん)  
わかやましずこ/さく  
福音館書店 1998  
20p 571円

「てんてんてん。てんとうむし。くぐるくる。かたつむり。」あかちゃんは、テンポのよい言葉とシンプルな絵をからだ全体で感じて、声をあげ、指で絵をなぞろうとします。小さい時ほど楽しめる1冊です。

“ほっぷ”の絵本を読んでみてあかちゃんの様子はどうでしたか？楽しんでいたら、もういっばすすんで次の“すてっぴ”へ。

ここではいろいろな絵本をテーマにわけて紹介しています。あかちゃんはひとりひとり違います。様子を見ながら選んでください。

そしてお気に入りの1冊が見つかったら、どうぞ心をこめて何度でも読んでやってくださいな。

忙しい日々、何でも完璧を目指すすと、気があせり、声はとがり、目はつりあがるというところに……。あかちゃんがごきげんになるのなら、家事は後回しにして、あかちゃんとの絵本の時間を優先させてもいいのでは？ おかあさんもリラックスできれば、たったの5分でもそれは、親子に幸せをはこぶ魔法のひとつになるはず。また、おかあさんの手が離せないときは、おとうさんの出番です。あかちゃんと絵本を読む楽しみを、おかあさんにひとりじめさせる手はありませんよ！



## ととけっこう よが あげた

(わらべうたえほん)  
こばやしえみこ / 著  
ましませつこ / 絵  
こぐま社 2005  
24p 900円

「ととけっこう よが あげた まめでっぼう おきてきな」めんどりが眠っているひよこに歌いかけると、ひよこは「おはよう」と、笑顔でおきました。次にこねこにも歌いかけて……。わらべうた「ととけっこう」をもとにした絵本です。めんどりのようにめざめの時にこの歌を取っておこしてやると、きっと一日のはじまりを笑顔でむかえられるでしょう。「まめでっぼう」の部分子ども名前に変えて歌うと、子どもはよりいっそうごきげんになります。



## ちびすけどっこい

(わらべうたえほん)  
こばやしえみこ / 著 ましませつこ / 絵  
こぐま社 2006 24p 入手不可



## まてまてまて

(わらべうたえほん)  
こばやしえみこ / 著 ましませつこ / 絵  
こぐま社 2005 24p 900円



## せんべせんべやけた

(わらべうたえほん)  
こばやしえみこ / 著 ましませつこ / 絵  
こぐま社 2006 24p 900円

“すてっぷ”の絵本が物足りなくなってきたな、と思ったら、さらに“じゃんぷ”!

“ほっぶ”、“すてっぷ”でいろいろな絵本とであい、たっぷりとその世界を楽しんだ子どもたちのために、少し長めでストーリー性のある絵本を紹介しています。

もう少し大きくなってからでも充分楽しめる絵本ばかりです。あわてないで子どもの成長にあわせて手にとってみてください。

絵本でしつけをしようとしたり、無理に何かを教えこもうとしないでください。楽しくなければ子どもは絵本そのものが嫌いになってしまいます。絵本が与えてくれる豊かな世界から子どもを遠ざけてしまうなんて、それはあまりにもったいないことです。



**おおきなかぶ**  
ロシアの昔話  
(こどものとも絵本)  
A. トルストイ/再話  
内田利沙子 訳  
佐藤忠良 画  
福音館書店 1966  
28p 800円

おじいさんが丹精こめて育てたおおきなかぶ。「うんとこしょ どっこいしょ」おじいさんはかぶを抜こうとしますが、抜けません。そこでおばあさんお呼んできてふたりでひっぱりますが、抜けません。おばあさんはまごを、まごはいぬを、いぬはねこを、ねこはねぶみを呼んできて……。子どもたちは、横長の画面いっぱいにかぶをひっぱる人数が増えていく様子によるこび、登場人物といっしょにかけ声をかけます。文章にあわせて、親子でリズムをとりながら楽しめるでしょう。



**おだんごぼん**  
ロシア民話  
(日本傑作絵本シリーズ)  
せたていじ/やく  
わきたかす/え  
福音館書店 1966  
24p 1,100円



**ふしぎなたいこ**  
たはんむかしはなし  
(岩波の子どもの本)  
石井瑠子/ぶん  
清水眞/え  
岩波書店 1953  
70p 640円



**三びきのやぎの がらがらどん**  
アスビヨルセンとモーによるノルウェーの昔話  
(世界傑作絵本シリーズ)  
マーシャ・ブラウン/え せたていじ/やく  
福音館書店 1965 32p 1,000円



**てぶくろ**  
ウクライナ民話  
(世界傑作絵本シリーズ)  
エウゲーニー・M・ラチョフ/え  
うちだりさこ/やく  
福音館書店 1965 16p 1,000円

森の中でおじいさんが落とした片方のでぶくろ。その中でくいしんぼねぶみが暮らしはじめます。びよんびよんがえる。はやあしうさぎ……と次々にやってきて小さなてぶくろにもぐりこみます。最後にくまがやってきて……。

あかちゃんだって  
えほんだいすき！



生駒市図書館